

オキナグサ キンポウゲ科
Pulsatilla cernua (Thunb.) Spreng.

鳥取県：絶滅危惧 類 (CR+EN)

環境省：絶滅危惧 類 (VU)

選定理由 減少顕著，生育環境悪化，採取圧，希少性。

生態・形態 日当たりのよい草原に生育する多年性草本。根茎は太く，全体に長白毛が密生。根出葉は2回羽状複葉，裂片は細長く，長葉柄がある。花茎は上部に3枚の輪生葉。花は4～5月，1個頂生，鐘形，外面に長白毛，内面は暗赤紫色，萼6個が花弁状となる。花後花柄は伸長，果実期には約30cmになる。瘦果には羽毛をつけた花柱が付随し特徴的。和名は瘦果の形態を翁（老人）の白髭に見立てたもの。

分布 本州，四国，九州。

（県内）三朝町，大山，日南町。

保護上の留意点 採取防止。生育草地の保全管理。

